

ギリシャ概況(2019 年 11 月号)

1. 内政

- ・13 日 国会本会議にて刑法改正法案が採択された。前政権による改正を無効とし、またテロ犯罪に関する条項等が追加された。
- ・19日 ミツォタキス首相は、禁煙に関する保健省の国家行動計画の4つの柱を正式に発表した。
- ・25 日 ギリシャ国会にて、在外選挙実施、大統領選出方法変更を含む憲法改正法案が採択された。

2. 外政

- ・10 月 29 日～11 月 1 日、訪希したアナスタシアディス・キプロス大統領は、アテネで開催されたEU・アラブサミットに出席した他、パヴロプロス大統領及びミツォタキス首相と個別に会談した。
- ・5 日 ミツォタキス首相は、2～5 日に開催された中国国際輸入博覧会 2019 に出席するため上海を訪問し、習近平中国国家主席等と会談を行った。
- ・5 日 パナヨトプロス・ギリシャ国防相は、来希したザキ・エジプト国防相及びアンゲリデス・キプロス国防相と三か国国防相会合を行った。
- ・6 日 ギリシャ・エジプト・キプロス三か国国防相はクレタ島を訪問し、これら三か国による多国籍共同軍事演習”Medusa“を視察した。
- ・6 日 デンディアス外相がロシアを訪問した。
- ・11 日 習近平中国国家主席は、アテネを訪問し、ミツォタキス首相と会談した他、ピレウス港を視察した。また、ギリシャ政府と、犯罪人引渡し条約等の犯罪問題における協力等、16 の協定を結んだ。
- ・14日 ミツォタキス首相は、「テサロニキ・サミット2019」のマージンでザエフ・北マケドニア首相、ボリショフ・ブルガリア首相等とバイ会談を行った。
- ・25日 プラキオタキス海運・島嶼政策大臣は、ロンドンにて開催された第31回IMO総会に出席し、御法川国土交通副大臣と会談し、海事技術・産業分野における協力覚書に署名した。
- ・26 日 ミツォタキス首相は伊を訪問し、コンテ・イタリア首相と会談し、主に移民・難民問題、エネルギー分野における協力等につき協議した。

3. 移民・難民問題

- ・20日 政府は、エーゲ海の5つの島（サモス島・ヒオス島・レスボス島・コス島・レロス島）に難民一時収容センターを設置すること及び、島嶼部に滞在する移民・難民のうち、2万人を2020年初期までに本土へ移送する計画を発表した。

- ・11 月には陸路でギリシャに到着する移民・難民の数が 1,550 名、エーゲ海島嶼部に到着する者の数が 8,300 名となった。
- ・11 月 30 日現在、ギリシャに滞在する移民・難民は 109,000 名。うち、38,800 名が島嶼部に、70,200 名が本土に滞在。(UNHCR 発表)

4. 経済

(1) 経済動向

- ・1 日 ギリシャ 10 年物国債の利回りがさらに低下し、1.15%となった。
- ・7 日 欧州委員会による秋の経済予測が発表された。ギリシャの GDP 成長率は、2020 年 2.3%、2021 年 2.0%。
- ・8 日 プラキオタキス海運相がコスコ社とピレウス港開発に関する協議を実施した。
- ・11 日 欧州投資銀行とコスコとの間で、ピレウス港の投資計画に対する 20 年間の融資契約が結ばれた。
- ・18 日 財務省による 1 月～10 月までの国家予算執行状況によると、歳入は 433 億 8,300 万ユーロとなり目標値を 16 億 6,600 万ユーロ上回った。
- ・25 日 欧州委員会の発表によれば、11 月時点でのユンカー・プラン(欧州投資計画)の対 GDP 比活用率は、ギリシャが 1 位(27 億 1,600 万ユーロ)であった。
- ・25 日 ギリシャ政府は、IMF からの借入の一部(27 億ユーロ)の早期返済を完了した。

(2) 財政

ギリシャ財務省が 11 月 25 日付けで公表した 2019 年 1 月から 10 月の財政統計によると、1 月から 10 月の財政収支は 9 億 600 万ユーロの黒字、同期間のプライマリーバランスは 57 億 3,900 万ユーロの黒字となった。同期間の歳入は 433 億 6,800 万ユーロで政府目標を 9 千 500 万ユーロ(0.2%増)上回り、歳出は 424 億 6,200 万ユーロと政府目標を 14 億 9,900 万ユーロ低く抑えられた。

(3) 輸出入

ギリシャ統計局の 12 月 6 日付の発表によると、10 月の輸入総額は 48 億 3210 万ユーロ(前年同月比 7.6%減)、輸出総額は 28 億 6,520 万ユーロ(前年同月比 9.1%減)となった。

(4) 観光業

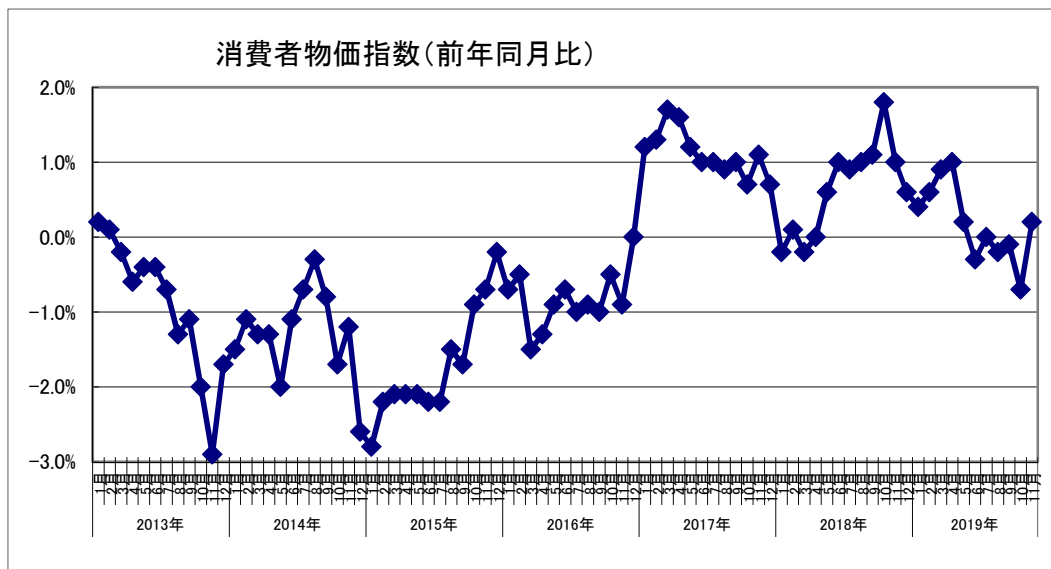
ギリシャ観光業協会(SETTE)の発表によると、10 月の観光客は 168 万 1,405 人で前年同月比は 5.7%増となった(国内主要空港の観光客到着数)。内訳は、アテネ国際空港が 56 万 3,580 人(同 9.6%増)、テサロニキ空港が 19 万 8,624 人(同 13.8%増)となっ

た。

5. 経済指標

(1) 消費者物価指数

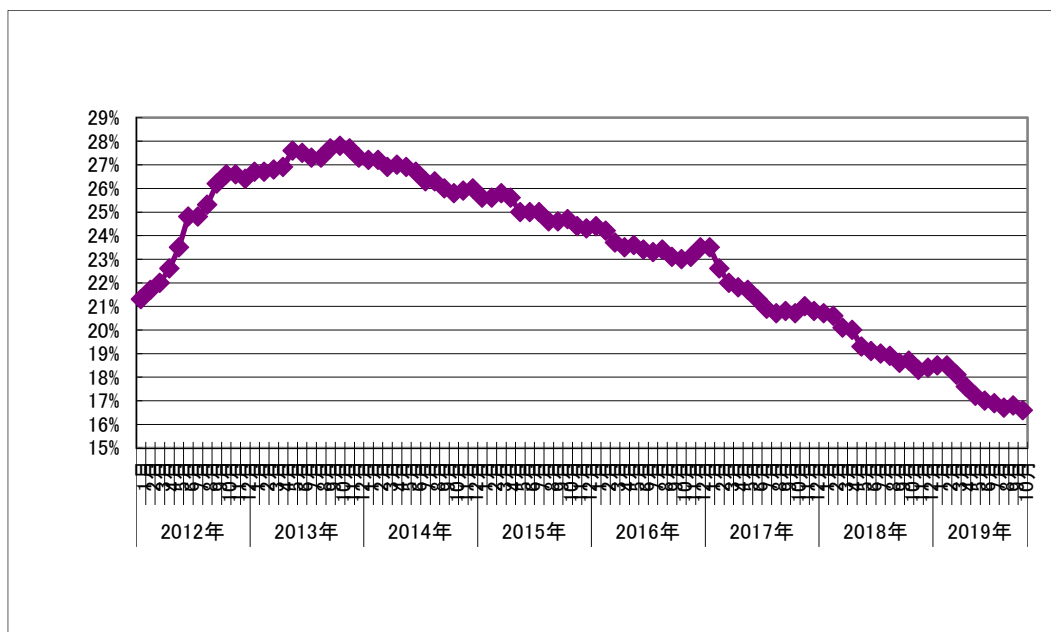
ギリシャ統計局の12月10日付の発表によると、11月の消費者物価指数は前年同月比0.2%増となった。



(出典:ギリシャ統計局)

(2) 失業率

ギリシャ統計局の1月9日付の発表によると、10月の失業率は16.6%となり、前月から0.2%減少した。



(出典:ギリシャ統計局)

(3) GDP

OECD のデータによると、2019 年第 3 四半期(7 月～9 月)の実質 GDP 成長率は前年同期比プラス 0.6%となった。



※この概況は各種報道・公表資料を基に作成した。

(了)